

# 和牛日本一鹿児島応援事業

## 応募書類記載要領

応募書類については、本記載要領について全て確認の上、作成をお願いします。

補助事業の選定は、審査基準に基づき、原則、応募書類をもとに行います。

以下を参考に、事業の魅力が存分に伝わるよう、作成をお願いします。

### ◆ポイント◆

- 誰が見ても事業内容が一目でわかるように
  - 何を目指しているのか、どの部分がポイントなのか分かりやすく
  - 審査基準に合致し、アピールできる点を明確に記載
- ※ 審査基準は「募集要項」を参照

### ◆作成上の注意事項◆

- 作成する際の用紙はA4サイズに印刷できるレイアウトとなるようにしてください。
- 様式の枠は適宜調整し、文字の見切れ等がないようにしてください。
- ホッチキスや付箋は使わないでください。
- 提出していただいた書類はお返しいたしませんので、御了承ください。
- 可能な限りパソコンでの作成をお願いします（手書きで作成する場合は丁寧な記載をお願いします）。

別記

第1号様式（第6条関係）

提出日を記入

鹿児島県知事

殿

年 月 日

知事名（塩田 康一）を記入

令和〇年度を記入

申請者 住 所  
団体(店舗)名  
代表者名

年度和牛日本一鹿児島応援事業実施計画承認申請書

年度和牛日本一鹿児島応援事業実施要領第6の規定に基づき、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

県補助金額+自己負担額の合計を記入

1 事業費総額  
金 円

2 関係書類

- (1) 事業実施計画書（別記第2号様式）
- (2) 収支予算書（別記第3号様式）
- (3) 添付資料
  - ア 事業実施主体の概要がわかる資料（団体の定款・規約、店舗パンフレット等）
  - イ デザイン案 ※「和牛日本一鹿児島」ロゴマーク活用支援に取り組む場合
- (4) その他知事が必要と認める書類

3 確認事項 ※ 内容を確認の上、チェックしてください。

チェック欄	内容
<input type="checkbox"/>	暴力団及びこれに準ずる団体が関わっていない。
<input type="checkbox"/>	現在、法令違反による処罰を受けておらず、事業運営に支障はない。
<input type="checkbox"/>	申請書および添付書類の記載事項に虚偽はない。なお、虚偽の申請を行ったことが判明した場合には補助金を返還する。

第2号様式（第6条関係）

和牛日本一鹿児島応援事業  
事業計画書

※実施する事業メニューにチェックをしてください。

事業名	<input type="checkbox"/> 「和牛日本一鹿児島」ロゴマーク活用支援 <input type="checkbox"/> 「和牛日本一鹿児島」イベント開催支援
事業実施主体 ※いずれかを選択してください	<input type="checkbox"/> 和牛日本一鹿児島応援店 <input type="checkbox"/> 複数の法人・団体等からなり、県産和牛の認知度向上に取り組む団体及びその他知事が認める団体

※記入欄（行）が不足する場合は適宜追加してください。

1 申請者の概要

ふりがな			
名称			
代表者	職名	計画承認申請書（第1号様式）に記載した申請者と同じ内容を記載	
氏名			
住所（所在地）	〒		
電話（FAX）番号	TEL : ○○○-○○○○○-○○○○ FAX : ○○○-○○○○○-○○○○	本事業に関して連絡可能な担当者及び連絡先を御記入ください。	
e-mail	tiryuutuu@pref.kagoshima.lg.jp		
当者連絡先	(部署名) ○○○○部 (職・氏名) ○○ ○○ (電話) ○○○-○○○○○-○○○○ (e-mail) tiryuutuu@pref.kagoshima.lg.jp		
業種・業態 ※応援店のみ（登録内容を記載）		和牛日本一鹿児島応援店登録番号 ※応援店のみ	R○-○○○
法人番号 ※応援店のみ	<input type="checkbox"/> 法人ではない	応援店は法人番号を記入してください。 法人ではない場合は、左のチェックボックスをチェックしてください。	
組織	〔役職名・氏名〕 会長（代表取締役） 副会長 会計 監査 事務局長	申請者の役職員について記載 ※ 既存資料がある場合は、別紙可	
沿革（活動・実績含む）	平成○年○月 ○○設立 平成○年○月 ○○において○○（イベント）を開催。 来場者数○○人。 令和○年○月 ○○において○○の広告掲載		

3 事業の目的

**本事業の事業目的（県産和牛の認知度向上）を踏まえ、応募する事業の目的を記載**

(記載例)

当店舗では、鹿児島県産の農畜産物を活用したメニューを幅広く提供しているが、鹿児島県産和牛を使用したメニューに比べて不調であるため、鹿児島県産和牛の認知度向上を図り、消費拡大に繋げる必要を感じている。  
本事業を通して、「和牛日本一鹿児島」ロゴマークを活用した看板の作成、PR資材の作成、メニュー表の作成を行うことで、鹿児島県産和牛の認知度向上・消費拡大に取り組む。

4 事業内容

(1) 「和牛日本一鹿児島」ロゴマーク活用支援

取組名	実施時期	実施内容	総事業費 (円)	県補助金 (円)	その他 (円)
		<p><b>【事業内容の詳細】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 応募する事業内容、実施方法等について、分かりやすくかつ実現可能なように、具体的に記載（別紙不可）</li> </ul> <p>(記載例)</p> <p>店舗正面看板に「和牛日本一鹿児島」ロゴマークを追加する。当店舗は交通量の多い〇〇通りに面しており、多くの県民や県を訪れる観光客の目に留まる。大きさは縦〇〇m×〇〇m。また、「和牛日本一鹿児島」ロゴマークをデザインに組み込んだ店舗ハンバーグレットを〇〇枚作成し、〇〇、〇〇、〇〇等に配布する。さらに、メニュー表については、表紙及び鹿児島県産和牛を使った料理名の横に「和牛日本一鹿児島」ロゴマークを追加したデザインを作成する。</p> <p>加えて、取組を実施する際には、店舗で通常実施しているアンケートに「和牛日本一鹿児島」ロゴマークに関する設問（ロゴマークの認知度等）を追加し、事業効果の測定を行う。</p>			

	<p><b>【ターゲット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募する事業のターゲットについて具体的に記載（別紙不可）</li> </ul>	
	<p>(記載例)</p> <p>ターゲットは、県内一般消費者及び県内を訪れる観光客。当店舗は1日平均〇人が来客し、その利用者層の多くは県内一般消費者。また、〇〇市の中心街であり、多数の列車が発着する〇〇駅付近に位置するため、本県を訪れる観光客も多く来店する。</p>	
	<p><b>【事業の効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募する事業を実施することにより、どのような影響や効果が見込まれるか、期待され、</li> </ul>	<p>(記載例)</p> <p>本事業で作成する看板、パンフレット、メニュー表については、令和7年度以降も継続して活用・増刷する予定であり、和牛日本一鹿児島ロゴマークの露出が増え、県産和牛の認知度向上が繋がることが期待できる。</p>

(2) 「和牛日本一鹿児島」イベント開催支援

取組名	実施時期	実施内容	総事業費 (円)	県補助金 (円)	その他 (円)
		<p>【事業内容の詳細】</p> <p>・応募する事業内容（イベント実施時期、開催場所等）を具体的に記載</p>			

（記載例）

イベントの目的：鹿児島県産畜産物の認知度向上・消費拡大を図る

開催予定日時：令和7年11月29日（土）、30（日）

開催予定場所：○○市○○町○○

イベントの内容：

鹿児島県産畜産物を取り扱う店舗を複数店舗集めて、野外で飲食物を販売するイベントを実施する。（うち、1店舗は必ず鹿児島県産和牛を取り扱う店舗を含む）

○○（イベント名）の開催

○月上旬

また、鹿児島県産和牛の試食提供を行う。

和牛日本一鹿児島ロゴマークの活用方法：

和牛日本一鹿児島」ポスターと「和牛日本一鹿児島」のぼりを○

本借りて、会場周辺に多数掲示する。

イベントの広報については、チラシを○部作成し、○○等に配布するが、  
そこでも「和牛日本一鹿児島」ロゴマークを活用する。

【事業に係る参画者及びその役割】

団体等名

○○（事業実施主体名） 事業実施主体、事業内容の企画・広報・運営

○○市商店街連盟 後援、広報協力（予定）

○○組合 当日のボランティア

左の表はあくまで記載例を変更してください。

## 【事業実施スケジュール】

(記載例)

- 月 関係者打ち合わせ
- 月 チラシの作成・配布
- 月 SNSによる宣伝
- 月 イベントの開催
- 月 事業実施後の振り返り、精算処理 等

## 【ターゲット】

- 応募する事業のターゲットについて具体的に記載（別紙不可）

ターゲットは、県内一般消費者及び県内を訪れる観光客。当イベントは令和〇年から毎年開催しており、県全域や他県からも来場者がある。直近の実績でいうと、令和〇年には、〇〇人の来場があった。

## 【事業の効果】

- 応募する事業を実施することにより、どのような影響や効果が期待され、県産和牛の認知度向上につながるかを記載

(記載例)

本イベントは次年度以降も継続して実施する予定である。また、通常時も人通りが多い〇〇広場でイベントを開催することで、イベント参加者のみでなく、イベント会場周辺を通行する人にも「和牛日本一鹿児島」ロゴマークが目に留まり、県産和牛の認知度向上に繋げることが期待できる。

小計

## 5 総括表

事業内容	事業費（円）
(1) 「和牛日本一鹿児島」ロゴマーク活用支援	
(2) 「和牛日本一鹿児島」イベント開催支援	
合計	

## 6 添付資料

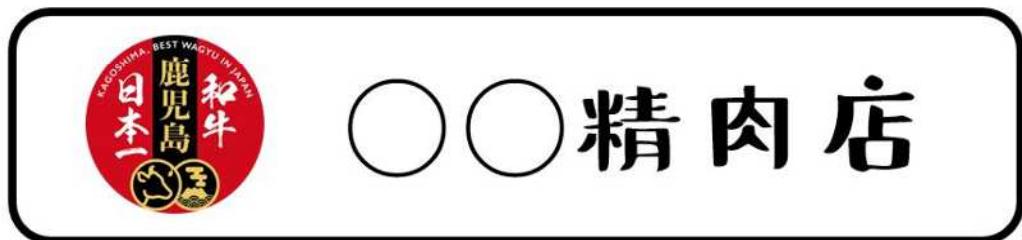
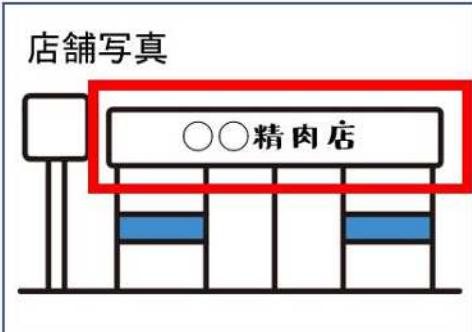
<input type="checkbox"/> 事業実施主体の概要がわかる資料（団体の定款・規約、店舗パンフレット等）
<input checked="" type="checkbox"/> デザイン案 ※「和牛日本一鹿児島」ロゴマーク活用支援に取り組む場合

添付の上、チェック

「和牛日本一鹿児島」ロゴマークがどのように活用されるか分かるようなデザイン案を提出してください。

### 【デザイン案（例）】

デザイン案(例: 店舗看板に「和牛日本一鹿児島」ロゴマークを活用する場合)



第3号様式（第6条関係）

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

区分	予 算 額	精 算 額	備 考
県補助金	○円		
自己負担	○円		
計	○円		

(注) 収入に他の補助金等がある場合、備考欄には当該補助金等の名称を記載すること。

2 支出の部

(単位：円)

区分	予 算 額	精 算 額	備 考
需用費	○円		試食用肉代 ○円×○kg=○円 チラシ作成費 ○円 消耗品費 ○円
役務費	○円		運搬費【事務所↔イベント会場】 ○円
使用料及び 賃借料	○円		会場使用料 ○円 備品レンタル料 ○円
委託料	○円		デザイン作成料 ○円
計	○円		

(注) 備考欄には経費の根拠（経費内容、単価、数量、員数等）を詳細に記載すること。